

スポーツ・健康ビジネスで社会課題を解決する

－ 部活動支援事業のご紹介 －

スポーツデータバンク株式会社
取締役 石塚大輔



～自己紹介～

石塚 大輔 (イシヅカ ダイスケ)

【役職】

スポーツデータバンク株式会社 取締役

スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役

スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社 代表取締役

台湾思動邦有限公司 董事長

一般社団法人日本ジュニアスポーツクラブ 事務局長



【略歴】

日本体育大学卒業

スポーツデータバンク(株)入社

2015年 同社取締役就任

スポーツデータバンクコーチングサービス(株)代表取締役就任

グループ初の台湾現地法人設立、董事長(代表)就任

2016年 スポーツデータバンク沖縄(株)設立、代表取締役就任

部活動を取り巻く現状と課題

Current status and Issues

例えば・・・

教員の負担



部活動の現状(メディア掲載)

運動部は今

教員の“奉仕”が支え

教育課程外

部活動は、学校の中心である。教員は、部活動を支える。部活動は、学校の中心である。教員は、部活動を支える。部活動は、学校の中心である。教員は、部活動を支える。

部活顧問「強制」に悲鳴

35運動で体

ネットでは、部活顧問の強制が話題となっている。教員は、部活顧問の強制に悲鳴を上げている。

部活顧問「強制」に悲鳴

35運動で体

部活顧問の強制が話題となっている。教員は、部活顧問の強制に悲鳴を上げている。

東京新聞 TOKYO Web

部活動が負担に

先生のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
	練習	練習	練習	練習	練習	練習
	練習	練習	練習	練習	練習	練習
	練習	練習	練習	練習	練習	練習
	練習	練習	練習	練習	練習	練習
	練習	練習	練習	練習	練習	練習

平日の勤務

休養日の設定

外部指導員の配置

強制しないで 中学教員ら負担軽減訴え

0 シェア 110 G+1 0

部活顧問はブラック労働

22日(月)11時0分配信

「教員に部活顧問をう若手教師らのネット上が署名——そう報だった。」

教師の声

年間8日程しか休めなかった

部活の激務で心身壊し退職

このまま死にたくない

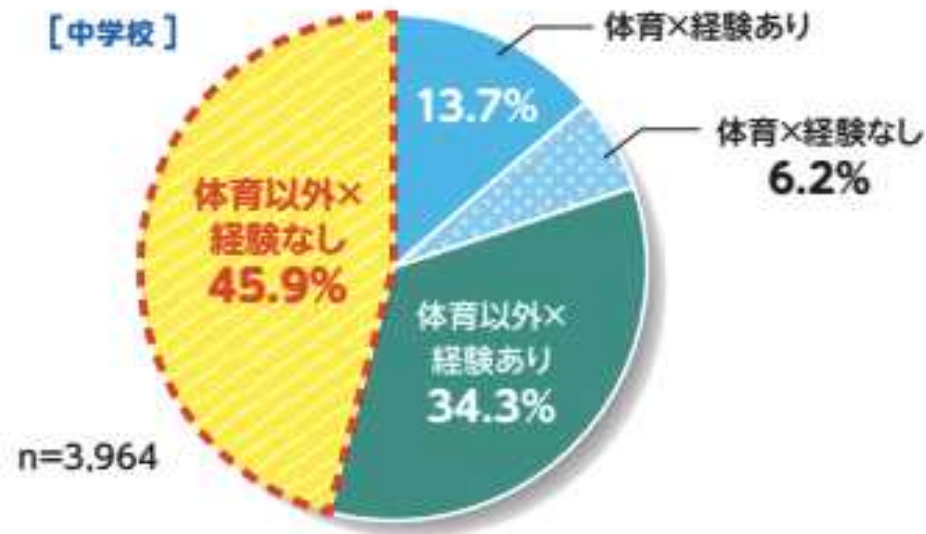
いじめなど子供たちのSOSを見逃さないためにも先生たちに心の余裕がないといけ

every.ポイント

負担減 ≠ 熱意減

部活動の現状(参考資料)

- 体育×経験あり:「担当教科が保健体育」かつ「現在担当している部活動の競技経験あり」
- 体育×経験なし:「担当教科が保健体育」かつ「現在担当している部活動の競技経験なし」
- 体育以外×経験あり:「担当教科が保健体育でない」かつ「現在担当している部活動の競技経験あり」
- 体育以外×経験なし:「担当教科が保健体育でない」かつ「現在担当している部活動の競技経験なし」



[中学校]

	全体 (n=3,833)	体育×経験あり (n=520)	体育×経験なし (n=237)	体育以外×経験あり (n=1,302)	体育以外×経験なし (n=1,728)
第1位	校務が忙しくて思うように指導できない(32.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない(36.7%)	校務が忙しくて思うように指導できない(29.1%)	校務が忙しくて思うように指導できない(40.2%)	自分自身の専門的指導力の不足(39.5%)
第2位	自分自身の専門的指導力の不足(26.7%)	施設・設備等の不足(18.5%)	自分自身の専門的指導力の不足(27.8%)	自分自身の専門的指導力の不足(16.3%)	校務が忙しくて思うように指導できない(25.6%)
第3位	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(13.6%)	部員数が少ない(17.5%)	部員数が少ない(13.5%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(14.8%)	自分の研究や自由な時間の妨げになっている(14.9%)

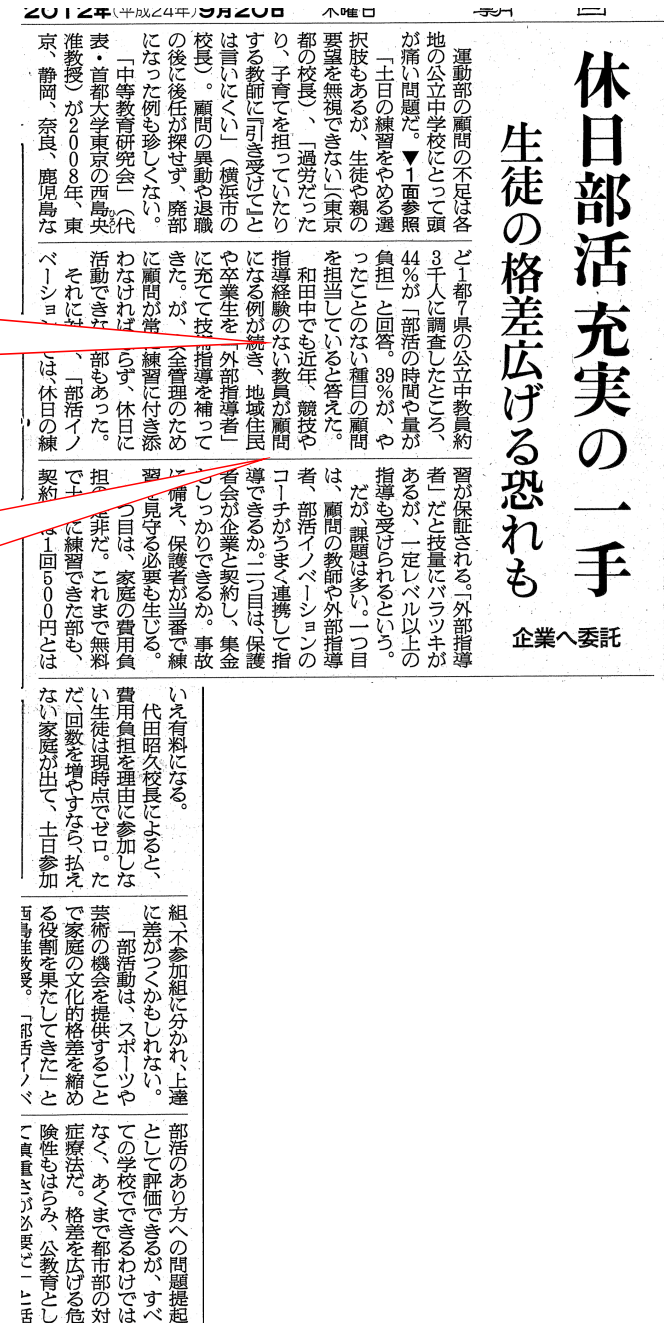
学校運動部活動指導者の実態に関する調査報告書（平成26年7月公益財団法人日本体育協会より抜粋）

部活動の現状(メディア掲載)

1都7県の公立中教員約3000人への調査

部活動の時間や量が負担 **44%**

やったことのない種目の顧問を担当 **39%**



2012年朝日新聞

私たちが部活動の社会問題を解決いたします！

1. 顧問の先生の負担軽減

土日や放課後の長時間の部活動が常態化し、顧問の先生が、学習や生徒指導で十分に子供と向き合う時間がとれなくなっており、昨今、社会問題化しています。
そこで、本プロジェクトを通じて、こうした社会問題の解決の一つとして寄与していきます。

2. 専門(プロ)による技術指導

競技経験がない顧問の先生によって、技術指導が十分に行えていないという課題があります。
そこで、各種目の専門家(プロ)が指導を行うことで、技術向上、メンタル面の向上を図る基盤を作り、より良い個々の心身の健全な育成に努めます。

部活動支援体制

Ver.1.0

外部指導員(者)制度

90年代より導入されている個人指導者登録制度。

学校からの申請・承認を経て、自治体より指導者が派遣されるため、自治体の予算を活用したモデルとなっている。

Ver.2.0

各教育委員会等予算型 民間委託モデル

約6年前より導入が開始した民間企業部活動委託モデル。

教育委員会や学校(保護者会)からの予算を活用したモデルとなっている。

Ver.3.0

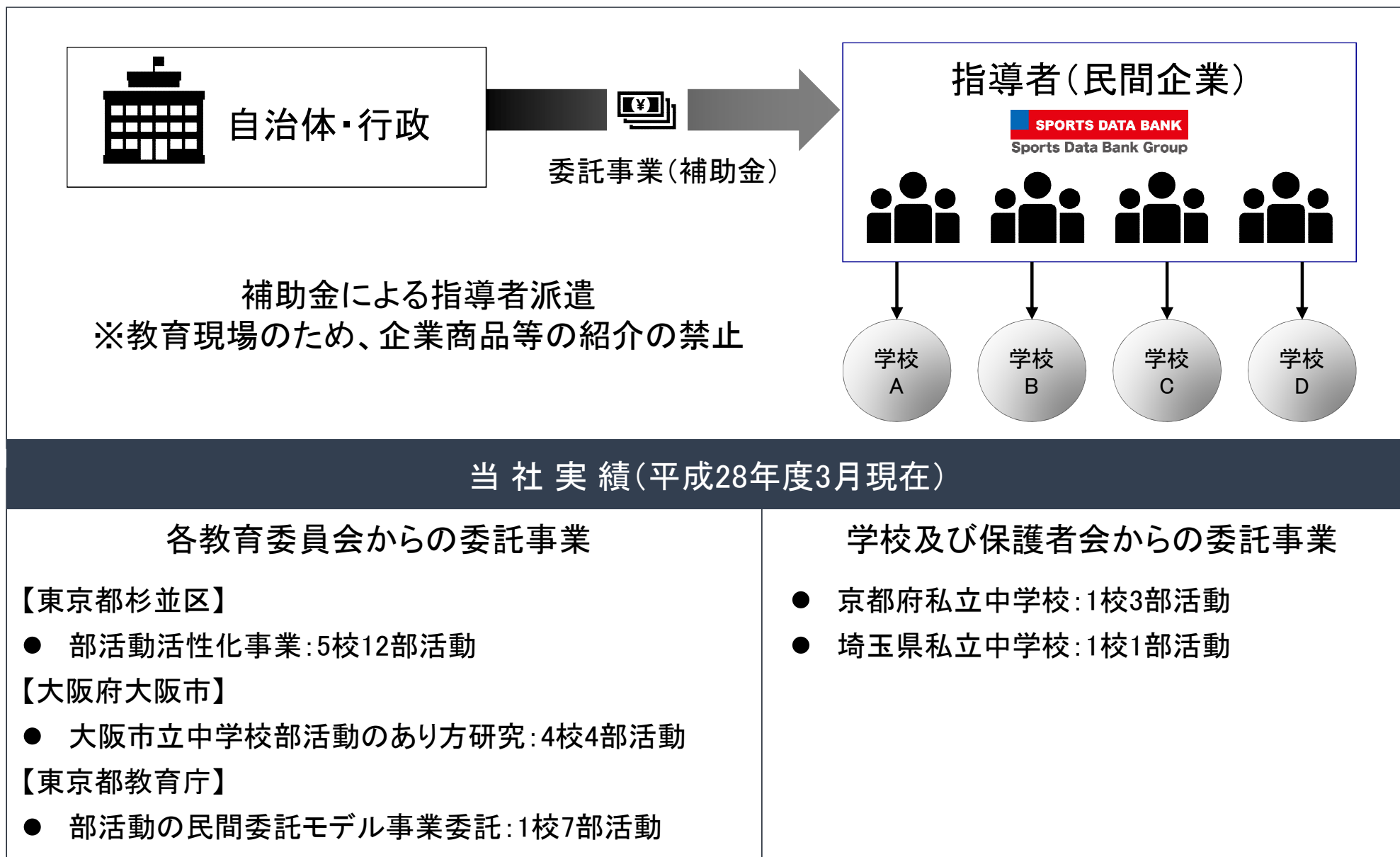
企業協賛型 民間委託モデル

今年より開始した新しい形の民間企業部活動委託モデル。

自治体や学校(保護者会)からの予算ではなく、地域にある民間企業からの協賛を



Ver.2.0 各教育委員会等予算型 民間委託モデル



「継続的に予算」を



つけることが難しい。

課題に対する解決策

スポーツ庁による取組

平成29年度概算要求

地域の教育委員会と
経済部局が連携した
新しいモデルの事業
「民間活力」として
企業からの支援がある

民間活力による運動部活動支援体制の構築のための実践研究

(新規)

29年度予算額：50,113千円

概要

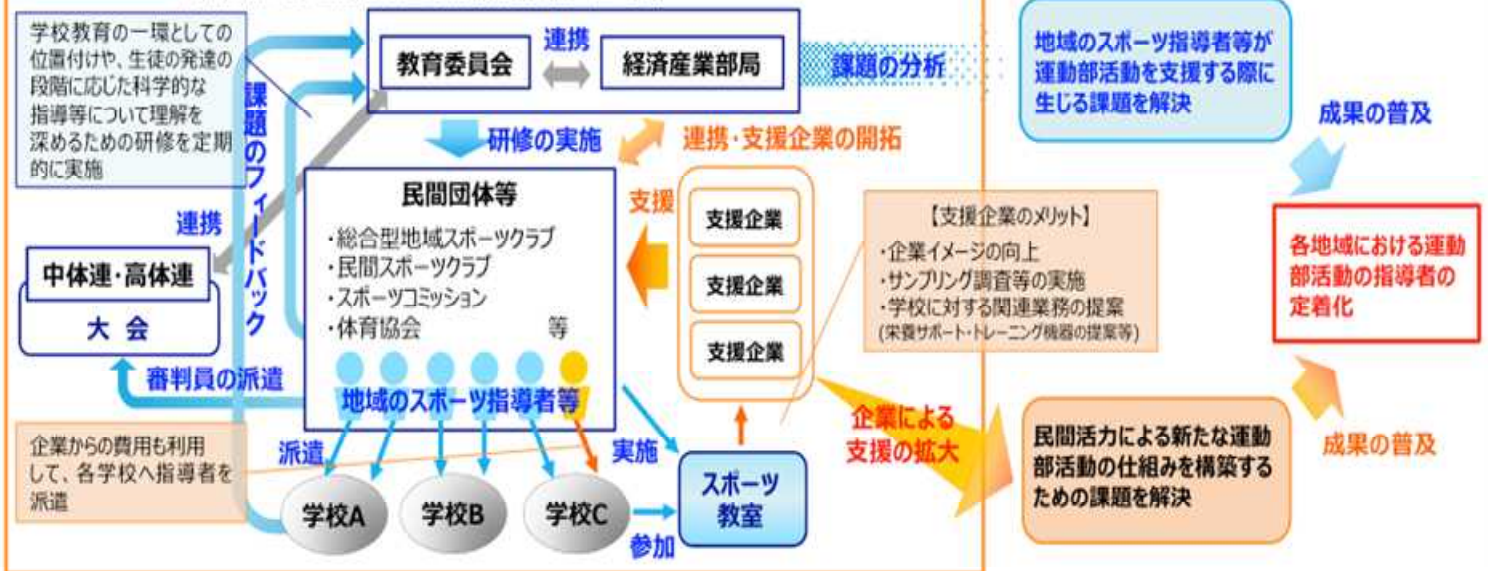
運動部活動の指導のみならず、顧問、単独で引率等を行うことができる運動部活動の指導者を定着させるための課題及び民間活力による新たな運動部活動の仕組みを構築するための課題を探り出し、その解決策について実践研究を行う。

背景

- 指導の高度化、専門化が求められる一方、顧問の約半数は担当する運動部活動の競技経験がなく、専門的指導力の不足を感じている教員が多い。
- 教員の負担の軽減を図りつつ、運動部活動の指導を充実していくためには、地域のスポーツ指導者等の幅広い協力を得ていくことが重要であり、運動部活動の指導のみならず、顧問、単独での引率等を行うことができる環境整備を進めていく必要がある。
- 地域のスポーツ指導者等の参画に当たっては、具体的な指導内容や方法、生徒の状況、事故が発生した場合の対応や責任体制等について、十分な調整を行い、共通理解を得ながら進めることが大切であり、運動部活動が学校教育の一環として行われるよう、適切な研修を行うことが大切である。
- スポーツ庁の創設を踏まえ、スポーツを通じた地域活性化などに取り組むことも必要である。

事業概要

実施団体：都道府県・市区町村教育委員会（7地域）





課題に対する解決策

2月26日(初回)

練習時の様子

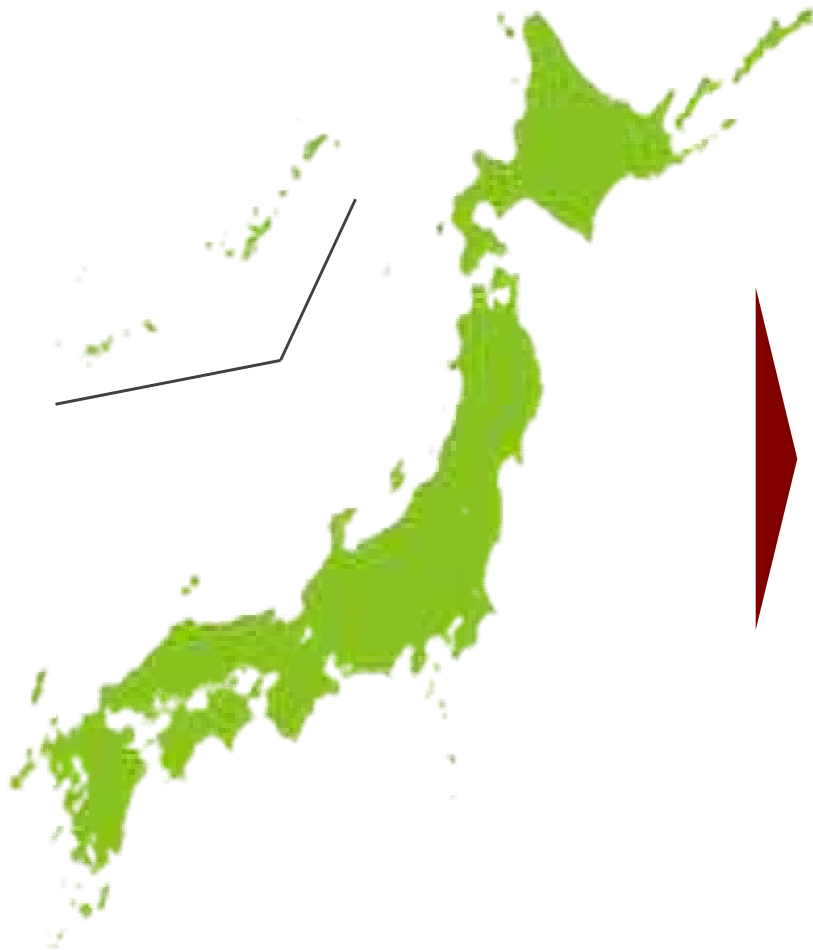


SPORTS DATA BANK
Sports Data Bank Group

今後の展望と可能性

The Prospects

日本国内への拡大



日本全国で同様の課題があり
ニーズがあるため
国内の地域への展開を目指す

日本全国公立中学校数 9707校

(文部科学統計要覧(平成27年版)より)

海外への輸出

【文部科学省 日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム EDU-Portニッポン】
パイロット事業 応援プロジェクト: 日本型部活動の海外輸出

新しい取組モデルをもとに日本独自の「部活動」をタイへ輸出。



アジア・ASEANを中心に「ジャパンプランド」として
『BukatsuDO』 を広げる